



名古屋銀行



名古屋キャピタルパートナーズ

2023年1月23日

株式会社名古屋銀行  
株式会社名古屋キャピタルパートナーズ

## 「めいぎんベンチャー1号投資事業有限責任組合」による第2号案件の投資実行について

名古屋銀行（取締役頭取 藤原 一郎）及び当行の投資専門子会社である株式会社名古屋キャピタルパートナーズ（代表取締役 近藤 和）（以下「当社」）は、「めいぎんベンチャー1号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を通じて BLUE BEES 株式会社（代表取締役 鈴木 良昭）（以下「同社」）に投資を実行いたしましたのでお知らせします。

当社はベンチャー企業である同社への投資を通じ、資本面・経営面からの支援に加え、同社の当面の目標である株式上場の支援を行ってまいります。

名古屋銀行と名古屋キャピタルパートナーズは、今後も地域経済の発展に資する取り組みを積極的に行ってまいります。

## 記

## 1. 投資先企業の概要

会社名	BLUE BEES 株式会社
代表者	鈴木 良昭
所在地	愛知県名古屋市東区葵 1-17-14
設立日	2020年8月3日
資本金	16百万円（発行済株式数 12,400 株）
事業内容	プロ e スポーツチームの運営、e スポーツイベント事業、教育・シニア・障がい者向け社会解決事業等

## 2. 投資決定理由

同社は、世界大会も経験する日本有数のプロ e スポーツチームの母体企業であり、e スポーツを軸としたイベント事業、e スポーツを通じた IT 人材創出事業・シニア層の認知症/フレイル対策を目的とした事業・障がい者施設の支援事業という社会課題解決に取り組んでおります。

また、2026年アジア競技大会愛知・名古屋大会に向け、地域の機運を上げていくべく本年よりゲーム・e スポーツを中心とするデジタルエンターテインメント「ワールドゲームサミット (WGS)」の開催を企画しております。本イベントは、メタバース・NFT といった WEB3.0 時代における当地域における新たな産業の創出に繋がることと期待されます。

本投資により同社による、地域における社会課題解決への取り組み、地域の新たな魅力の創造、将来の新たな産業の創出がさらに広がり、雇用の創出、地域経済の発展に資することを目的として、今回投資決定いたしました。

以上

<参考> BLUE BEES 株式会社について

- ・設立目的

プロスポーツビジネスによる地域社会及び国内経済活性化  
国の未来を支える人材を創出するための文化と風土の創造

欧米と比較しスポーツビジネスが不得手と言われている日本、その日本の「新たなエンターテインメント」として、世界に通用する「プロスポーツ」で、国を、まち（愛知・名古屋）を、盛り上げていくために、法人設立を決意。



- ・社名の由来



チームシンボルは、bluebee：青い蜂

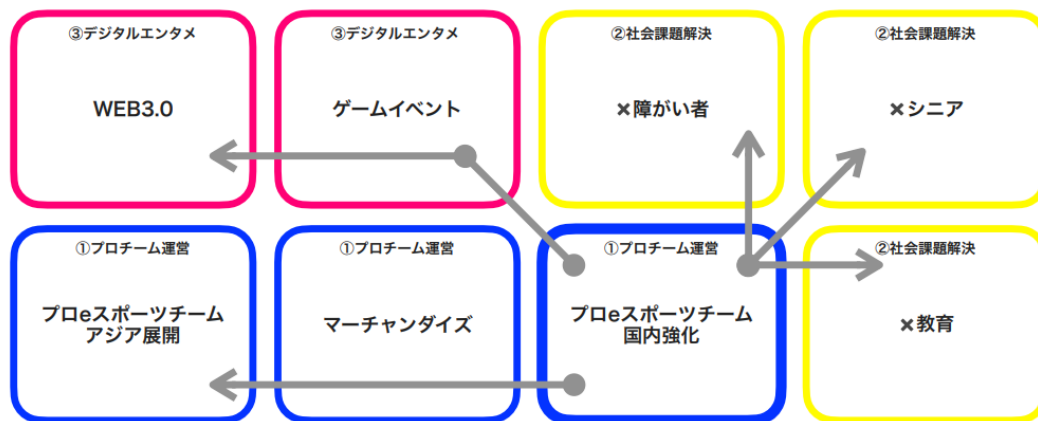
bluebeeは、欧米で「幸せを呼ぶ蜂」と呼ばれ

チーム発足の地である名古屋市の市章「A」と「蜂」をかけ、複数形のbeesとすることで、「多くの人と一緒に取り組み、まちに幸せを運び込もう」という想いを込めている。



2018年10月設立記者会見開催

- ・社会課題解決とデジタルエンターテインメントへの拡大



今後、eスポーツチーム運営事業と共に、「教育」「シニア」「障がい者」向けの施設・団体・個人へのゲーム・eスポーツサービスによる社会課題解決とデジタルエンターテインメントの双方向への事業を加速させていきます。また同時にオンライン・バーチャル空間で世界をターゲットとした WEB3.0 における新たなコンテンツ・サービスも仕掛けていき、地元愛知・名古屋を代表するエンターテインメント系のスタートアップ企業として成長していきます。